

「社中協力×カーボンニュートラル計画」へのご協力をお願い

慶應義塾では2030年に慶應義塾全体の電力使用量のすべてを自然エネルギーに転換することを目指しています。慶應義塾がカーボンニュートラル化を推進することで、地球環境の保護に貢献することができます。

そこで、慶應義塾と東京電力グループは、慶應義塾関係者（塾員・教職員・塾生および保護者など）の各家庭における太陽光発電設備で発生した「環境価値※1」を慶應義塾を介して結集し、これを義塾社中によるカーボンニュートラル化に対する社会貢献として見える化するするとともに、慶應義塾のカーボンニュートラル化にも貢献する取り組みとして「社中協力×カーボンニュートラル計画」を立ち上げました。

慶應義塾に関係するみなさまにおかれましては、「社中協力」の精神でこの計画に参加し、カーボンニュートラル社会の実現ならびに慶應義塾のカーボンニュートラル目標達成にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

～背景～

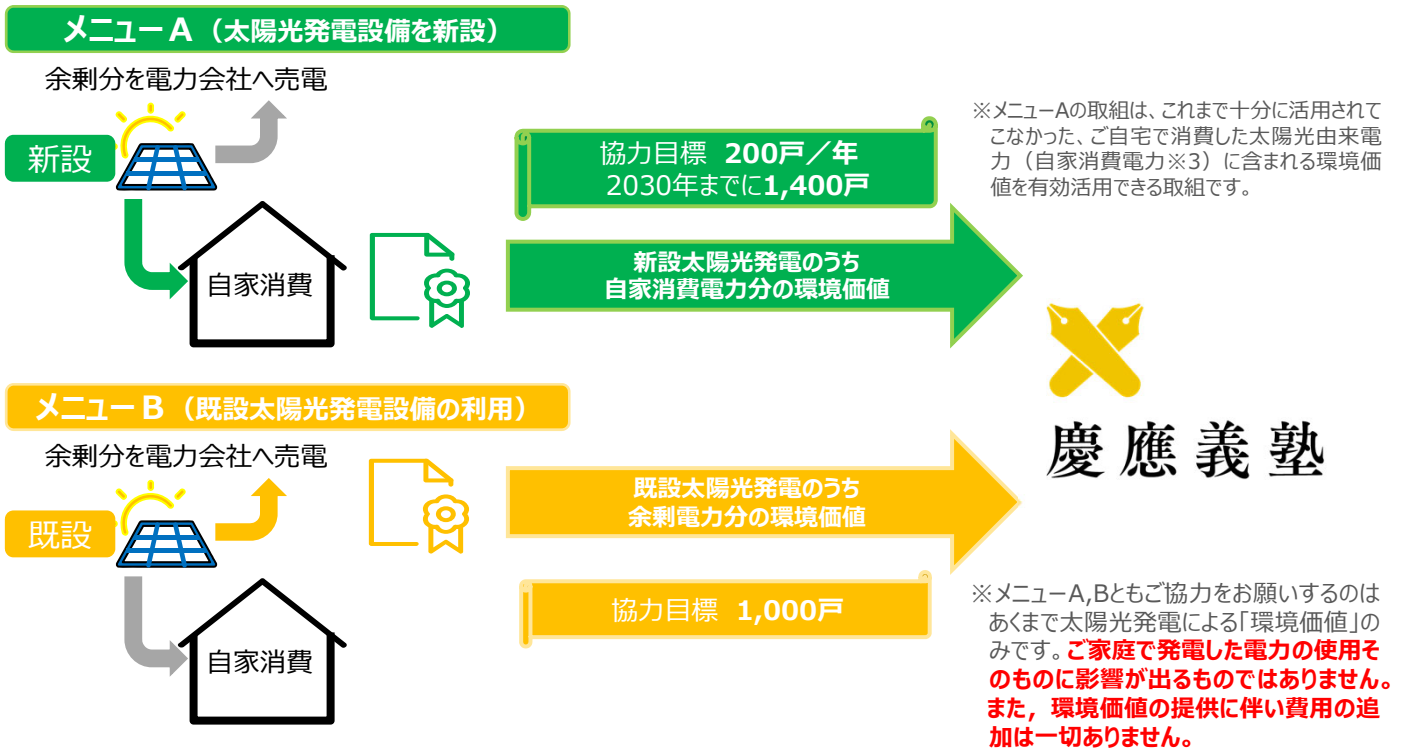
- ・政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言
- ・慶應義塾でも、カーボンニュートラル目標を掲げ、校舎への省エネ設備導入ほか具体的な活動に着手
- ・慶應義塾オリジナルな取組の一環として、東京電力グループと協力・連携のうえ、社中一体で慶應義塾のカーボンニュートラルに貢献できる仕組みを構築

～取組の全体像～

社中協力×カーボンニュートラル計画

家庭で生み出された「環境価値」を慶應義塾に結集してカーボンニュートラル化に貢献！

- メニューA：これから新たに太陽光発電設備を設置する場合 「慶應義塾×エネカリプラス」※2による協力
 メニューB：既に太陽光発電設備を設置している場合 「再エネ企業応援プラン」による協力



～各メニューの詳細説明、お問い合わせはこちら～

<https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/denka/keio.html>

■用語の説明

※ 1 環境価値

電気や熱などエネルギーそのものの価値とは別に、地球温暖化への一因とされている二酸化炭素の放出がない、という「付加価値」のことを指す。この環境価値を慶應義塾が取得することにより、その環境価値分の二酸化炭素排出量を減量したことになり、省エネなどのエネルギー削減の努力に加えて、慶應義塾のカーボンニュートラルを加速化することができる。

※ 2 慶應義塾×エネカリプラス

東京電力グループのエネカリプラスサービス（初期費用0円・定額制で太陽光発電設備を導入できるサービス）に、このサービスで設置した太陽光発電設備で発電した電力のうち、自家消費電力分の環境価値の取得と、これを慶應義塾に提供する仕組みを追加した、慶應義塾と東京電力グループが共同で企画したサービス。

（エネカリプラスの契約には条件がありますので、詳細については東京電力エナジーパートナーのHPをご確認ください。

URL : <https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/denka/enekariplus/>)

※ 3 自家消費電力

太陽光発電設備等により発電された電力のうち、設備が設置された家庭において使用された電力相当分をいう。